原単位の改善のための取組に関する状況 【2025年度提出分(2024年度実績)】 <mark>※非特定事業者用</mark>							
群馬用水土地改良区						銘柄コード 4700150019988	
日本標準産業分類	コード	項目名			エネルギー総使用量	53,922 GJ 1,391 kl	【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】
中分類	01		農業		前年度エネルギー	1,365 kl	
細分類	0131	耕作	- グイ 	<u> </u>	総使用量 非化石エネルギー	GJ kl	
(申請事業) エネルギー管理統括者	【役職】 主	主事			総使用量 調整後温室効果ガス 排出量	t-CO ₂	
【エネルギーの使用の合理化	「氏名」 小林 拓朗 ボーの体用の合理化】					 出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】	【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】
主たる事業における	6.85	原単位分母			1調金後温主効米ガス排 り 種別	ロ里の昇足に用いた認証併田削減里寺の里』 合計量	
エネルギー消費原単位 ^{※注} (2024年度実績)	主たる事	業		%	Jクレジット	t-CO2	1. エネルギーの使用の合理化に関する事項 ・高圧揚水機場におけるポンプの効率化
事業者全体の		2021 2022	2023	2024	-	- t-CO2	・加圧機場におけるポンプインバータ化、吐出バルブ制御による電気使用量の削減、運転タイマー設置による使用時間の削減 ・専門技術者による定期的なポンプの省エネ診断及び技術指導
サポイェ体の エネルギー消費原単位 対前年度比		年度 年度 7.72 6.52	年度 6.69	年度 6.85	_	- t-CO2	
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)		97.77	1		-	- t-CO2	
※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業							
【電気の需要の最適化】	(X20/2007)				【非化石エネルギーへの	坛換】	2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項 ・太陽光発電施設の導入
主たる事業における 電気需要最適化評価原単位			原単位分母	}	電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気	・小水力発電施設の導入計画
(2024年度実績)					 目標(2030年度)	1.0%	
DR実施日数						2020 2021 2022 2023 2024	
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2020 2 年度 4	2021 2022 年度 年度	2023 年度	2024 年度	直近5年度間の実績値	年度 年度 年度 年度 0.0	
事業者全体の					目安設定業種		
5年度間平均原単位変化						,	【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】
【ベンチマーク指標の状況(台	理化)】				目安(2030年度)		1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)
ベンチマーク区分					12(1200)		
目指すべき水準			k!	Q/t以下	目標(2030年度)		
ベンチマーク指標の状況					1 12 (2000 + 12)	2020 2021 2022 2023 2024 年度 年度 年度 年度	
ベンチマーク区分					直近5年度間の実績値	年度 年度 年度 年度	
目指すべき水準			k	l/t以下	 目安設定業種		2. 関連リンク
ベンチマーク指標の状況							
ベンチマーク区分	_		-		目安(2030年度)	-	
目指すべき水準		_				_	
ベンチマーク指標の状況		<u>-</u>			 目標(2030年度)	_	
ベンチマーク区分	_		_			2020 2021 2022 2023 2024 年度 年度 年度 年度 年度	() () () () () () () () () () () () () (
目指すべき水準	-				直近5年度間の実績値	中度 中度 中度 中度	(注意事項) ・赤枠囲み欄は必須記載です。 - 元件 元件 は、元年の利用の保護に関わる情報と関係できるなど、この日本による、欧洲へになる情報の変異を受ける場合による
ベンチマーク指標の状況	-						・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、 情報の公表を継続する必要があります。